

まちの話題



犯罪のないまちを目指して



最優秀賞 日比愛菜さん 上多度小学校 6年生(中央右)
優秀賞 日比悠真さん 上多度小学校 4年生(中央左)
佳作 山越輝琉さん 上多度小学校 6年生(左)



最優秀賞 梶間春花さん 東部中学校 3年生(中央)
優秀賞 中村日南さん 東部中学校 2年生(左)

令和4年度地域安全運動ポスターコンクールで入賞した上多度小学校と東部中学校の受賞者に対して、養老警察署長から賞状が手渡されました。受賞者たちは、暮らしやすい犯罪のないまちを作るために「犯罪を起こさないよう呼びかけたい」「犯罪から弱い人たちを守りたい」「ごみが捨てられて、自然が壊れていくのを防ぎたい」とポスターへ込められたメッセージを話してくれました。

また、入賞作品は11月9日から17日まで町民会館ロビーにて展示されました。

新たな伝統、さらに進化



10月27日(木)に養北小学校で全校児童による「養北ソーラン」が披露されました。1～3年生、4・5年生、6年生と三部構成で行われ、それぞれが自分たちでアレンジしたオリジナルのソーラン節を披露するこの取り組みは、10年前から始まり養北小学校の新たな伝統となっています。ただ伝統として継承していくだけでなく、どんどん進化していく「養北ソーラン」は迫力のある、見応えのあるものでした。

練習の成果を笑顔で発表



日吉小学校では、5月から日本あいうえお体操協会の指導のもと「あいうえお体操」をはじめとした“体を動かして楽しく学習する”授業に取り組んできました。10月28日(金)に、その取り組みの成果を動画にして発表するため、撮影会を行いました。児童たちは、この日のために毎朝練習してきた成果を存分に発揮し、満面の笑みを浮かべ楽しそうに発表していました。

実りの秋を食べて感じる



10月31日(月)に養北小学校の2年生がコミュニティ・スクールのサポーターの協力のもと、自分たちで育て、収穫したさつまいもで焼きいもを作りました。児童たちはできたての熱々の焼きいもに大興奮でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大への対策から持ち帰って家で食べました。苗から育て、収穫し、食べることで、自然や食、農業への理解を深めました。

農作業から育む地元愛



10月14日(金)に、広幡小学校の5、6年生の児童が6月に植えた苗が収穫の時期を迎え、大跡地域環境保全組合、西美濃農業協同組合職員などの指導のもと稲刈りと脱穀作業を体験しました。児童たちは稲作を通じて、たくさんの人が関わって農作物ができることを学び、地域との繋がりを感ずることで地元への愛着を育みました。